

昭和100年記念特別展

# 昭和と金沢文庫

令和8(2026)年7月25日(土)～9月13日(日)



県立金沢文庫旧館絵葉書  
(楠山永雄コレクションのうち)

1926

1930

1936

1940

1945

1953

1967

1969

1980

1988

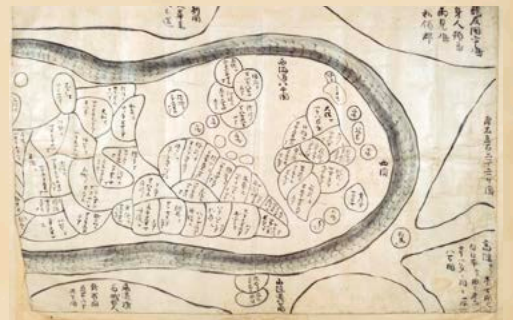
1989



角田武夫筆「金沢巡礼」のうち小泉山弁天社(角田家所蔵)



貸出文庫行李



重文 日本図



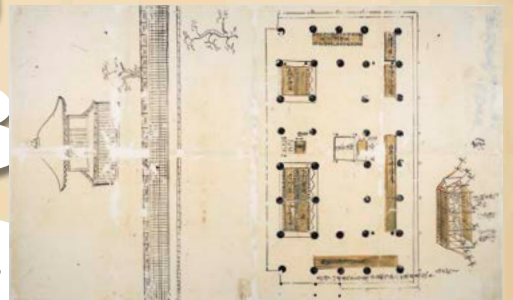
称名寺裏山開発の様子



国宝『薄草紙口決』第五



称名寺苑池発掘の様子



国宝 高野山奥院指図

【開館時間】 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)  
 【休館日】 毎週月曜日、8月12日(水)  
 【観覧料】 20歳以上 400円(300円)／20歳未満・学生 250円(200円)  
 65歳以上 200円(100円)／高校生 100円／中学生以下・障がい者の方は無料  
 ※( )内は20名以上の団体料金  
 【交通】 京急線「金沢文庫駅」東口より徒歩12分(快特で品川駅より33分、横浜駅より16分)  
 シーサイドライン「海の公園南口駅」より徒歩10分(JR根岸線 新杉田駅接続)  
 【主催】 神奈川県立金沢文庫【協力】 横浜市金沢区役所

## 神奈川県立金沢文庫

Kanagawa Prefectural Kanazawa-Bunko Museum

〒236-0015 横浜市金沢区金沢町142

TEL 045-701-9069/FAX 045-788-1060



<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/kanazawabunko/index.html>





国宝修理竣成届（釈迦如来立像）

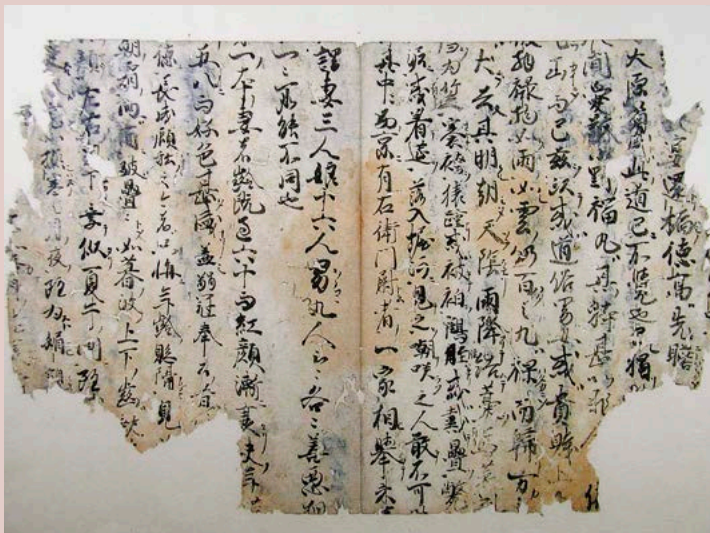


重文 十二神将像のうち午神

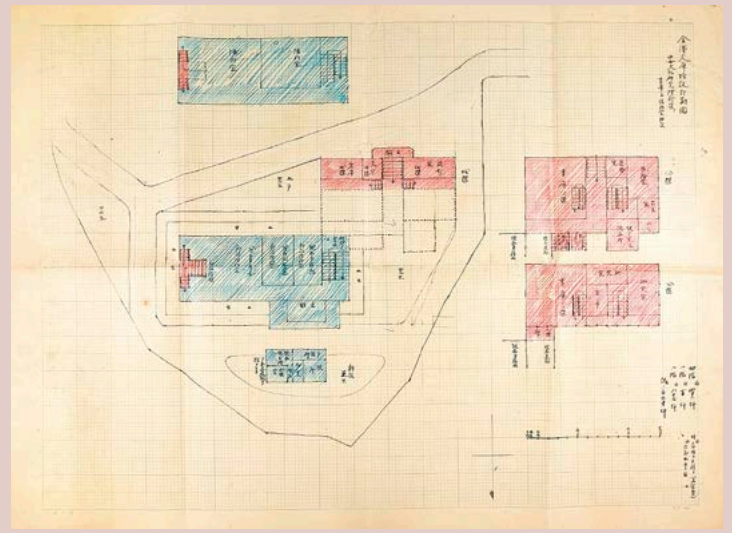
## 展示趣旨

「激動の時代」とも呼ばれる昭和時代。横浜市金沢区にある称名寺の昭和は、関東大震災という未曾有の災害からの復興から始まりました。そして昭和五年の県立金沢文庫開館は、震災からの復興と昭和天皇御大典記念事業という大きな動きの中で実現しましたが、その後の県立金沢文庫の活動は、まさに昭和という時代とともに歩んできたといっても過言ではありません。

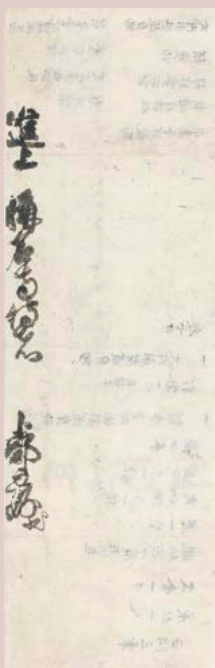
本展では、昭和への改元から100年という節目の年に、激動の時代をくぐりぬけてきた県立金沢文庫の足跡を、ゆかりの文化財や当時の記録などからたどっていきます。



国宝『新猿楽記』断簡



関靖案金沢文庫増建計画図



国宝 卜部兼好書状縦紙



県重文 種子愛染明王図

## 関連行事

### 講座

- ①文庫長講座：令和8年8月1日(土) 13時30分～15時  
演題：「昭和と金沢文庫」展の見どころ  
講師：向坂卓也（神奈川県立金沢文庫 文庫長）
- ②月例講座：令和8年9月12日(土) 13時30分～15時  
演題：「文献報国」のその先へ—県立金沢文庫の戦中と戦後—  
講師：山口啄実（神奈川県立金沢文庫 学芸員）

### 〈申込方法〉

当文庫HP「申込フォーム」、または往復はがき（お一人様1講座1通まで）に、講座名（開催日）、住所、氏名、電話番号を明記の上、①7月16日(木)、②8月27日(木)必着でお申し込みください。いずれも定員は70名（超過の場合は抽選）、会場は当館地下大会議室です。受講には当日の観覧券が必要です（受講料は無料）。

〒236-0015 横浜市金沢区金沢町142 神奈川県立金沢文庫  
電話045-701-9069 F A X 045-788-1060

展示解説：ボランティアによる展示解説 土、日、祝日の14時および15時から

予告

特別展 国宝でたのしむ仏教美術

令和8年9月18日(金)～11月8日(日)